平成 27 年 3 月 13 日

平成２６年度　開進第一小学校　学校評価報告書

練馬区立開進第一小学校
校　長　　説　寿弘

１　自己評価

（１）　概要

本校では、学校公開の実施後及び運動会等の各行事後に、記述式による保護者アンケートを実施し、肯定的意見と疑問・改善等の意見を課題として捉えている。（今年度は４回実施）また、平成 26 年 12 月に保護者・地域、児童による評価及び教職員による自己評価を行った。また、保護者・地域の方からの記述意見や聞き取り等により、学校の教育活動に対する意見を集約し、学校改善に生かしている。

＜成　果＞

・保護者・地域・教職員の全ての項目で３点（数値表記 P2 参照）を上回り、本校の教育活動に対して肯定的に捉えられている。

・保護者・地域からは、学校の意欲的な取組③、教員の指導④～⑥、地域・保護者との連携⑧⑨において、比較的高い数値が見られた。各行事、授業公開等においては、保護者・地域によるアンケートを実施し、９割が肯定的に記述していることからも、本校の特色ある教育活動に理解・協力が得られていることが分かる。

・児童からの評価においては１１項目８項目において昨年度より数値が高くなっている。教育の充実ぶりがうかがえる。

・教職員は「意欲的に教育活動に取り組んでいる」③の項目において、3.86 の高い評価をしており、日々の教育活動、授業改善に意欲的に取り組んでいる。

＜課　題＞

・児童による評価では、前年度からの課題である「自分の考えを進んで発表する」⑦ことについて、前年度を上回ったものの、まだポイントが低い。校内研究の取組みを引き続き継続し、児童が自分の考えをもつとともに発言意欲を高められるよう、取組を継続していく必要がある。

・教職員の意識と 0.3 以上の開きのある項目は、保護者の「連絡・相談に適切に対応している」⑩である。この点においては、学校としてさらに意識を高める必要がある。

（２）根拠となる資料

ア）　保護者、地域、教職員の評価結果

	【学校について】	保護者	地域	教職員
①	学校の教室や廊下、特別教室などの環境整備に努めている。	３．４５	３．６３	３．４６
②	学校では校舎内外の施設・設備の安全管理を適切に行っている。	３．４１	３．７５	３．５４
③	学校は、子どもたちのために意欲的に教育活動に取り組んでいる。	３．６３	３．８６	３．８６

	【教員の指導について】	保護者	地域	教職員
④	授業をわかりやすく工夫して教えている。	３．５４	４．００	３．７１
⑤	集団生活をする上での基本的な生活習慣が身に付くように指導している。	３．５４	３．７１	３．７１
⑥	子どもの健康や安全に関する指導が適切に行われている。	３．５３	３．７１	３．７１
⑦	子どもは、充実した学校生活を過ごし、学校が楽しいと感じている。	３．６４	３．５７	３．４８

	【地域・保護者との連携について】	保護者	地域	教職員
⑧	学校は、各行事や公開日、参加型授業を通じて、学校を公開するために努力をしている。	３．８２	３．８６	３．７１
⑨	学校は、教育方針や教育活動を学校だよりや学年だより等で地域・保護者にわかりやすく伝えている。	３．６４	３．７５	３．６７
⑩	学校は、子どもについての連絡・相談に適切に対応している。	３．４４	３．６７	３．７９

イ） 児童による評価結果

	評価項目	昨年度	今年度
①	学校は楽しいですか。	３．４８	**３．５５**
②	授業は、わかりやすいですか。	３．４６	**３．５０**
③	先生は、よいところをみつけてほめてくれますか。	３．４５	**３．５８**
④	先生は、いけないところをきちんと注意してくれますか。	３．７５	**３．６８**
⑤	学校には、こまったときに相談できる先生がいますか。	３．３７	**３．５９**
⑥	学校のきまりや約束を守っていますか。	３．３４	**３．４３**
⑦	自分の意見や考えを、進んで発表していますか。	２．９０	**３．０５**
⑧	自分からともだちや先生に進んであいさつしていますか。	３．３７	**３．４７**
⑨	友だちやまわりの人に、思いやりをもって親切にしていますか。	３．４６	**３．５３**
⑩	自分から進んで読書をしていますか。	３．４８	**３．４８**
⑪	体を動かす遊びや運動を進んでしていますか。　（本年度新設項目）	－	**３．４８**

※　表中の数値について

Ａ：あてはまる（４点）Ｂ：ややあてはまる（３点）Ｃ：あまりあてはまらない（２点）

Ｄ：まったくあてはまらない（１点）Ｅ：わからない（点なし）　として総合点を出し、総合点÷（総数－Ｅの数）を計算して平均値とした。

※　調査期間及び集計総数（回収率）

保護者アンケート　平成 26 年 12 月 10 日～12 月 15 日　448 枚（84.1%）（前年度 92.2%）

地域アンケート　平成 26 年 12 月 22 日～1 月 5 日　7 枚（17.9%）（前年度 42.4%）

教職員アンケート　平成 26 年 1 月 8 日～1 月 13 日　29 枚（100%）（前年度 100%）

児童アンケート　平成 26 年 12 月 10 日～12 月 16 日　618 枚（95.2%）（前年度 99.5%）

ウ）自己評価の結果（別紙グラフ）

２　学校関係者評価

（１）成果

・先生方が工夫して授業をしており、児童は落ち着いて学習している。

・校内環境がよく整備されている。校内でできる補修は、主事さんを中心にすぐに対応している。

・12 月 5 日の研究発表会では、先生方の熱意が伝わってきた。たくさんの保護者が受付等をお手伝いしたが、手伝い終了後に発表会を参観した保護者から、手伝ってよかったとの話を聞いた。

（２）課題

・登下校時に通学路を歩いていない児童がおり、危険なので指導が必要である。

・基本的な生活指導において、学級により開きがあることがあった。

（３）改善策

・通学路については守れていない場所を地域の方から伺ったので、全学級で具体的に指導していく。また、今後も PTA 見回りパトロールや地域からの情報も集め、交通安全指導に取り入れていく。

・学級による開きが出ないように、生活指導の全体計画・分掌毎の計画をもとに全教職員で共通理解を図り取り組んでいく。また、毎月の生活指導部会でその時期の問題点と改善策をまとめているが、それが共通実践となるまで、学年で確認する。

３　評価結果の公表等

（１）学校だより３月号にて、学校評価結果と分析を掲載する。

（２）学校ホームページに、学校評価結果と分析を公表する。

４　次年度の学校改善へ向けた校長の見解

・「生きる力の育成～知・徳・体の充実～」を研究主題として、２年間のまとめとして１２月５日に研究発表会を開催し、全教職員が一丸となって児童の育成に努めてきた。その成果が保護者・地域に認められ、今回のよい評価につながったと考える。次年度も研究を継続しさらに児童の育成に努めるとともに、「伸びゆく開一の子発表会」を開催し、保護者・地域に向けて児童の成長の様子と教職員の取組を発信していく。

・学力調査等の分析を踏まえ授業改善プランを改善するとともに、児童が進んで自分の考えを発表できるよう授業形態や発問を工夫し、授業改善に取り組む。また、教員の授業力向上のための校内ＯＪＴ研修等を充実させるとともに、加配教員を中心として学年で取り組む少人数習熟度別指導や学力向上支援員の積極的な活用等を行い、児童の学力向上、基礎基本の定着を図る。

・アンケート・聞き取り・面談等の様々な方法で、いじめや児童の心の問題などを毎月くみ取ることができるようにして、児童が安心して充実した学校生活が送れるようにしていく。また、特別支援コーディネーターを中心として組織的に対応し、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員及び関係諸機関と連携し、迅速な解決を目指す。特に、「いじめや体罰は絶対に許さない」という強い

意志で取り組む。

・保護者・地域からの学校に対する期待、教育に関心が高いことから、今後もアンケートや保護者会等での聞き取りから得られた意見等を真摯に受け止めるとともに、学校だより、校長室だより、ホームページ等で、日々の教育活動の様子等の情報を発信していく。また、いじめ、体罰、不登校等の教育課題に対しては、係諸機関と連携し、迅速な解決を促す。